

令和7年度 5歳児 「発表会」

(子どもの姿に応じて計画を見直す。特に柔軟に変更可能な箇所を網かけ、実践前修正箇所を斜体、実践後修正箇所を囲み文字にて示す。)

1. 期間 1月～2月

2. 設定の理由

一つのお話をテーマにし、様々な登場人物になって学年で取り組む運動会のリズム表現や学級集団で取り組む発表会を、これまでに5-4回経験してきている。また、5歳児の発表会の取組を見る機会もあり、学年や学級の集団ではなく、自分達のしたい発表をグループに分かれて発表する姿を目にしてきている。

これまで、好きな遊びの中では、気の合う友達や同じ遊びをしたいと思う友達同士で集まり、一緒に遊びながら、互いの考えをぶつけ合うことを通して、自分達の必要から、~~また必要を感じるきっかけを教師に作ってもらい~~、遊び方や役割、ルールなどを話し合ったり、相談したりして遊びを進める姿が見られるようになってきている。ただし、その個人差は大きく、リーダー的に動く子どもから、グループという小さな集団すら意識しにくい子どもまで、一人一人の子どもを見るとその状況は様々である。

このように様々な状況にある子ども達が、小学校以降においても学びを積み重ねていけるように、どの子どもにも必要な学びを保障する必要がある。そこで、11月から12月にかけて、5歳児のクラスの枠を外し、子ども達が自分達でしたいお店によってグループを作り、そのグループの共通の目的に向かって進めていくお店屋さんごっこの活動を展開してきた。このお店屋さんごっこでは、年少児や年中児を招待する日を設定し、その日に向けてグループで計画し、活動を進めるということを経験している。

このような保育の形態をとることによって、グループの友達と意見を調整しながら協力して活動を進める必然性が生まれてくる。すると、リーダー的な動きをする子どもを中心とした話し合いが行われるようになる。そして、グループの友達みんなが納得して遊びを進めるためにはどうすればいいのか、試行錯誤を繰り返したり、先の見通しをもちつつ自分達の願いを実現するために、互いの思いを擦り合わせたり一つ一つの問題を解決したりしていくことを期待することができ、自分達でやり遂げた充実感を味わわせることができると考える。

そこで、今回の発表会においても同様の保育形態をとり、年長時の1年間のまとめとして、それぞれの子ども達が自己発揮しつつ、一緒にグループの友達と共通の目的を自分達で設定し、相談したり、話し合ったりする中で、試行錯誤しながら自分達で諸課題を解決して乗り越え、自分達の発表を作り上げていく充実感を味わえるようにしたい。

3. ねらい (思考に関わる資質・能力が発揮・伸長されることを想定している部分を下線で示す。)

- ①自分達のしたい発表会を考え、その中で自分の発表したいことを決め、同じ発表に取り組みたいと思った友達と一緒に、自分達の実現したいことに向けた具体的な目標をもち、そのためにどうすればよいか考え続けたり、諦めずに取り組み続けたりしてやり遂げようとする。 自ら決める・選ぶ
- ②自分達が発表したいことに取り組みながら、実現したいことに近付いた、頑張った、成長したと感じて~~喜んだり、満足したり、自分の考えのよさを感じて自信をもったり、自分達で諦めずやり遂げたりしたことに充実感を得たり満足したり、自分の考えに自信をもったり、頑張りや成長を感じたり~~する。 充実感を得る
- ③グループの友達の気持ちを聞いたり周りの状況を見たり感じたりして、自分の気持ちを落ち着けたり、切り替えたりしようとする。 気持ちをコントロールする
- ④グループの友達に言葉にしてもらったり認めてもらったり、自分で振り返ったりして、自分の言動やその意味、頑張り、好きなこと、苦手なこと、言い方、状態、向き合い方、気持ち、個性を自覚したり認めたりする。 自分のことを知る
- ⑤グループの友達と、一緒にしたり助けってもらったりする嬉しさややり遂げた喜びを感じ、一緒に発表を作り、やり遂げる仲間がいることを嬉しく思う。 他者という喜びを感じる
- ⑥グループの友達と一緒に発表を作り出す中で、友達の話を聞いたり、していることを見たりして、友達の気持ちや考えを知ったり、友達の得手不得手や取り組み方、頑張りなど、今まで知らなかった友達の個性に気付いたり、認めたりす 他者のことを知る

- る。
- ⑦グループの友達と一緒に発表を作り出すために、自分の気持ちや考えを分かってほしいところまで相手にきちんと伝えたいと思って、相手の様子を見たり伝えているか確かめたりしながら、~~伝え方を工夫したり、適切な伝え方を選んだりして、分かってもらったり受け入れてもらったりする~~伝わるまで伝えようとしたり、伝えるよさを感じたりする。 自分のことを伝える
- ⑧友達の置かれている状況を考えたり気遣ったりしながら、友達にとってどうすればよいか考えてしようとする。 他者のことを考えて行動する
- ⑨グループの友達と自分達のしたい発表ができるように、また、発表したいことが違う友達と1つの発表を作り上げていくために、~~何が必要なものやか~~内容や、役割、決め事などをどうすればよいか考えたり見通しをもったりしようとしたり、グループの友達と一緒に、納得するまで考えたり、話し合ったり、試したり、~~振り返って決めたり、~~決めたことを守ったり責任をもったりしようとする。 人と物事を進める
- ⑩縄やフラフープ、跳び箱、一輪車、ボール、コマ、けん玉などの運動用具に合わせた使い方、力加減、体を動かすタイミングなどを、見たり体感したり考えたり試したりしようとする。 体の動きや感覚を磨く
- ⑪身近な素材や道具の性質や特徴を生かして用途に応じて選んだり工夫して使ったりしようとする。 事物・現象を捉える
- ⑫自分達の発表の内容やグループの人数に応じて、発表に使える場の広さ、友達や使うものとの距離や位置を感覚でとらえ、物の置き方や場のとり方、動く方向や身体の向きを考えようとしたり、試してみたことを振り返って考え直そうとしたりする。 数・量や形、空間を捉える
- ⑬自分達がしやす~~い~~かたり見ている人が見やす~~か~~たり~~分~~かりやす~~か~~たり~~ま~~る~~よ~~うに、必要な物を用意したり置く物や体の位置や向きを考えて動かそうとしたり、そうするよさを感じたりする。 場や状況を整える
- ⑭道具が長く使えるように丁寧に扱ったり、限られた時間や場所、物であることを感じて、もったいなくないように大切にしようとしたりする。 資源の活用を見つめる
- ⑮自分達の発表に必要な物を思い浮かべて、大きさや形、色、組み合わせ方などを考えたり、素材の特徴を生かしたり、友達がすることを真似たり、友達の考えを取り入れたりして様々に工夫をしながら、描いたり作ったり~~作ったものを使っ~~てみてどうだったか考え作り変えたりする楽しさを感じる。また、大きさや色、質感などで表現の面白さや本物らしさ、こだわりを感じる。 色や形に表す
- ⑯曲調やリズム、テンポを感じて、技を切り替えたり曲を選んだり、~~アレンジした歌詞がフレーズのリズムに合っているか聞いたり歌ったりして確かめたり、~~歌詞の意味を自分の状況や心情と重ね合わせて歌ったり、~~歌声が重なり合う一体感を感じたり友達と気持ちを合わせて歌う充実感を味わったり~~する。 音に表す
- ⑰自分の思いや考えを、相手に分かるように言葉を選ぶ、つなげる、順序立てるなど理由を添えるなど~~たり~~して、伝えようとしたり、自分達の発表の紹介や挨拶に、~~自分達の発表に~~相応しい言葉を考えて使おうとしたりする。~~イメージを膨らませて歌詞を作ることを楽しむ。~~ 言葉に表す
- ⑱自分達の表現したいことなりたいものをよりそれらしく表現するために、また、見ている人がどう感じるかを考えて、感じてほしいことをより効果的に表現するために、小道具や大道具、衣装、場のとり方、飾り方、音楽、隊形、プログラムの内容や順番、司会等の役割などを考えたり友達のよさを取り入れたり試したり~~振り返ったりして、他のグループの効果的な生かし方を感じたり取り入れたりして方法を~~選んで、表現しようとする。 言葉に表す
演出・構成する

グループの題材に合わせて追加するもの

- ア. 跳び箱を使う際に、どのような場所ですと危なくないか~~ぶつからないか~~考えて、活動場所を決めたり、マットを敷いたり、跳び箱を安全に運ぶ方法を友達と考えたり試したり、跳ぶ向きを相談したりしようとする。 身を守る

- イ. リズムやテンポ、曲調を感じたりして音を鳴らすことを楽しんだり、音を聞いて音の高低や音色、音階を感じたり、友達と合わせて音が重なり合う一体感を感じを重ねようとしたりしながら、それらを意識して、楽器を鳴らすことを楽しむ。音に表す
- ウ. 登場人物の気持ちや性格、生態から、表情や言葉、話し方、動き方などを考えたり、場面設定に合わせた動き方や話し方などを考えたり、曲調や歌詞から膨らませたイメージの表し方を考えたり、友達の表現や考えをとり入れたりして、表現する楽しさを感じる。体や動きに表す
- エ. 友達と一緒に話のそれぞれの場面の様々な登場人物の設定や気持ちを感じたり考えたり、イメージを膨らませたり設定を生かしたりして話の設定や展開、役の設定を具体的に考えたりしながら、登場人物の気持ちに近づこうとしたり、友達と一緒にお話を作って遊ぶ楽しさを感じたりする。演出・構成する

4. 展開

発表会の取組に対する期待を高める

A【発表会について話し合う】

- ・3学期に楽しみにしていることを話題にし、発表会をすることを楽しみにする思いを共有する
- ・もも組の時の発表会やこれまでに見てきたさくら組の発表会など、知っている発表会の経験を出し合う
- ・どんな発表会にしたいか、何を大切にしたいか出し合い、共有する
- ・発表会の日や場所、**時間**を聞く
- ・発表したいことを考えて決め、一人一人のしたいことを出し合う
- ・条件に合うか、発表会として相応しいかなどの意見を出し合う
- ・発表したい内容によって学年合同でグループを作る

自分達の発表に必要なものやすめる必要があることを考えて取り組んだり、発表会の取組に向けて自分達の生活のリズムを作ったり約束を決めたりする

B【グループで発表会の準備や練習をする】

- ・みんなで集まる時刻、活動場所、練習の仕方、必要なもの、役割分担など、自分達で**準備や練習**をするためにグループの中で必要なこと、決めておきたいことを話し合っ決めて
- ・自分達の発表に必要なものと考えて準備したり、作ったり描いたりする
- ・自分達の発表したいことが叶えられるように友達と一緒に練習する
- ・自分の考えをグループの友達に話したり、友達の考えを受け入れたりしながら、発表しようとしているものがよりよくなるために、グループのみんなで話し合っ決めていく
- ・他のグループとの関係で場の取り方を考えたり、安全に気を付けて準備したり、活動を進めたりする
- ・発表会の練習をしながら、グループの課題を見付け、よりよいものになるように考えたり工夫したり話し合ったり相談したり振り返って決めたりする
- ・発表会の日までの見通しをもって、話し合ったり相談したりして計画や自分達の課題を修正しながら活動に取り組む
- ・自分達の取組がよく分かるような発表会の名前やグループの名前を決める

人に見てもらふことを意識して発表を工夫する

C【グループの取組を見せ合う】

- ・発表することを学年のみんなで見合う
- ・見る人の立場から、より素敵な発表にするための方法を考える
- ・「面白い」「素敵」「もっとこうの方がいい」と思うところを出し合う

・自分達の発表に取り入れられそうなことを考える

D【みんなで歌を歌う】

- ・歌詞の意味を考えながら**歌を聞いたり**歌詞を見たり**聞いたりする**
- ・歌詞の意味を感じながら歌う

- ・どう感じてほしいかや見る人がどう感じるかを考えて、歌い方や並び方、入退場の仕方、曲紹介や終わりの言葉を決める

自分達の取組を発表する

E【発表する】

- ・うめ組やもも組を招待して子どもだけの発表会をする
- ・お家の人を招待して発表会をする

A【発表会について話し合う】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・ 3学期に楽しみにしていることを話題にし、発表会をすることを楽しみにする思いを共有する ・ もも組の時の発表会やこれまでに見てきたさくら組の発表会など、知っている発表会の経験を出し合う ・ どんな発表会にしたいか、何を大切にしたいか出し合い、共有する ・ 発表会の日や場所、時間を聞く ・ 発表したいことを考えて決め、一人一人のしたいことを出し合う ・ 条件に合うか、発表会としてふさわしいかなどの意見を出し合う ・ 発表したい内容によって学年合同でグループを作る 	<p>○自分達のしたい発表会を考え、その中で自分の発表したいことを決め、発表会を楽しみに思う①</p> <p>○発表したい内容が似ており一緒に取り組めそうだった友達と一緒に、自分達の発表を作っていくことを楽しみにする①</p> <p>○一緒に発表を作っていく仲間ができることを喜ぶ⑤</p>	<p>*話し合いをする時に、どんなことを大切にしながら発表したいことに向かっていたいか共有できるように、大切にしたいことを尋ねたり、これまでの経験から感じてきているよさや大切さを確かめたりしながら、「ともだち(5人以上)とちからをあわせて」「(グループや学年の友達、見る人のことも考えられるように)みんながうれしい」「うみだす」というキーワードを言葉にしたり書いたりして示す。</p> <p>◎自分達の発表会がしたいという気持ちがあるように、これまで友達と作ってきた運動会の遊びリズム表現や発表会のことを話し、5歳の発表会はどんな発表会にしたいのではどうするか尋ね、共有していく。そして、自分が発表したいことを考える時間を十分にとる。</p> <p>*子ども達が実現したいことに存分に取り組めるように、それを支えられる教師の人数から総グループ数は6つまでとする。</p> <p>*全グループの発表を見てもらえるように、1グループの持ち時間は用意と片付けを含めて15分程度とする。</p> <p>◎全体の見通しをもって発表を考えられるように、おおよその持ち時間を知らせておく。</p> <p>◎自分が本当に取り組みたいことを自分の意志で決められるように、全員でグループを決める日までに取り組みたいことを友達と相談せずと考えておくよう伝えたり、取り組みたいことを個別に聞き取り、全員分を聞き取った後に表示したりする。</p> <p>*友達の考えている発表したいことがよく分かるように、子どもが考えた発表の内容を文字やイラスト等にかき記したり、不明な点を尋ねて伝え合う場を設けたりする。</p> <p>◎発表したい内容が近く、一緒に取り組めそうだった友達と一緒に、自分達の発表を作っていくことを楽しみに思えるように、出し合った発表の内容を一緒に見ていき、大切にしたいキーワードの条件に合うか、発表会としてふさわしいかなどを一緒に考えながら、グループ作りをする。</p> <p>◎仲間ができた嬉しさを感じられるように、グループで集まる場を直後に設けたり、仲間が決まったことを教師も一緒に喜んだりこれからが楽しみな思いを言葉にしたりする。</p>

B【グループで発表会の準備や練習をする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで集まる時刻、活動場所、練習の仕方、必要なもの、役割分担など、自分 		<p>*子ども達が相談したことをすぐに始められるように、いろいろな遊具や用具や材料をすぐに取り出せる場所に用意しておいたり、子どもから要求があればすぐに用意したりする。(画用紙、折り紙、新聞紙、ボール紙、段ボール、箱、カラービニール袋、布テープ、ビニールテープ、セロテープ、油性ペン、)</p>

達で準備や練習をするためにグループの中で必要なこと、決めておきたいことを話し合っ

- ・自分の考えをグループの友達に話したり、友達の考えを受け入れたりしながら、発表しようとしているものがよりよくなるためのことを、グループのみんな
- ・他のグループとの関係で場の取り方を考えたり、安全に気を付けて準備したり、活動を進めたりする
- ・発表会の練習をしながら、グループの課題を見付け、よりよいものになるように考えたり工夫したり話し合ったり相談したり振り返って決めたりする
- ・発表会の日までの見直しをもって、話し合ったり相談したりして計画や自分達の課題を修正しながら活動に取り組む
- ・自分達の取り組みがよく分かるような発表会の名前や

- 同じ発表を取り組みたいと思った友達と一緒に、自分達の実現したいことに向けた具体的な目標をもち、そのためにどうすればよいか考え続けたり、諦めずに取り組み続けたりしてやり遂げようとする。①
- 自分達が発表したいことに取り組みながら、実現したいことに近付いた、**頑張った、成長した**と感じて**喜んだり、満足したり、自分の考えのよさを感じて**自信をもったり、**自分の頑張りや成長を感じたり**する②
- グループの友達の気持ちを聞いたり周りの状況を見たり感じたりして、自分の気持ちを落ち着けたり、切り替えたりしようとする③
- グループの友達に言葉にしてもらったり、認めてもらったり、自分で振り返ったりして、自分の言動やその意味、頑張り、好きなことや苦手なこと、言い方、状態、向き合い方、気持ち、個性を自覚したり認めたりする。④
- グループの友達と一緒にしたり助けてもらったりする嬉しさや、やり遂げた喜びを感じ、一緒に発表を作っていく仲間がいることを嬉しく思う⑤
- グループの友達と一緒に発表を作り出す中で、友達の話の聞き

色鉛筆、紐類など)

- *発表する内容を考える手がかりとなるように、発表したい内容に関連する本や掲示、音源等を用意する。
- *発表に必要な物を自分達で管理したり大切に扱ったりするように、それぞれのグループ毎にまとめて置いておける場所を子どもと一緒に作っていく。
- それぞれのグループの進行状況を見て、目標に向かって諦めずに取り組みたり考え続けたりしていけるように、励ましたり、少しでも実現したいことに近付いていることを見付けて言葉にしたり、それに至るまでの頑張りを感じたり、一緒に考えたり、ヒントを与えたり、子どもだけでは難しいところを手伝ったりする。
- 一人一人の子どもが自分の考えに自信をもったり、自分の頑張りや成長を感じたりするように、一人一人が考えを出していることや教師が感じた考えのよさ、一人一人の頑張り、以前との違いを具体的に言葉にしたり、自分はどう感じているか尋ねたりする。
- 以前との違いを感じたり、実現したいことに近付いたと感じたりして嬉しい気持ちを感じられるように、取り組んでいるところを動画に撮って一緒に見たり、以前との違いやしたいことに近付いていることを具体的に言葉にして一緒に喜んだりする。
- 自分の気持ちを落ち着けたり切り替えたりして、グループで話し合おうと思えるように、自分の気持ちを出しているか確かめながら見守ったり気持ちを尋ね**て他の友達の気持ちを聞く機会を作ったり**、十分に時間をとって、納得するまで話し合う場を設けたり、**周りの状況を見せて自分を振り返る機会を作ったり**する。
- 自分の気持ちや頑張り、個性などを自覚したり認めたりするように、友達に言葉にしてもらったことを自分ではどう思っているか尋ねたり、教師が見取った頑張りや個性などを言葉にしたりする。
- 友達や苦手なことに対する自分の向き合い方を自覚するように、教師が見取った向き合い方**や変化など**を言葉にしたり、周りの友達にどう見えているか聞く機会を設けたりする。
- 助けてもらったり、認めてもらったり、作りあげていくことを一緒に喜んだりするように、友達を助けたり認めたりしていることが友達にどんな思いを抱かせるか言葉にしたり、仲間がいてよかった、よい仲間が集まっているなどの気持ちを言葉にして共感していく。
- 一人一人の子どもの考えが生かされ、互いの考えていることを分かり合っ

<p>グループの名前を決める</p>	<p>たり、していることを見たりして、友達の気持ちや考えを知ったり、友達の得手不得手や取り組み方、頑張りなど今まで知らなかった友達の個性に気付いたり認めたりする⑥</p> <p>○友達の考え、頑張っているようになったこと、作ったものの工夫などを素敵だと思う⑥</p> <p>○グループの友達と一緒に発表を作り出すために、自分の気持ちや考えを分かってほしいところまで相手にきちんと伝えたいと思って、相手の様子を見たり伝わっているか確かめたりしながら、伝え方を工夫したり、適当な伝え方を選んだりして、分かってもらったり受け入れてもらったりする伝わるまで伝えようとしたり、伝えるよさを感じたりする⑦</p> <p>○友達の置かれている状況を考えたり気遣ったりしながら、友達にとってどうすればよいか考えてしようとする⑧</p> <p>○グループの友達と自分達のしたい発表ができるように、また、発表したいことが違う友達と1つの発表を作り上げていくために、何が必要なものやみ内容や、役割、決め事などや約束をどうすればよいかを考えたり見通しをもったりしてしようとする⑨</p>	<p>に、一人一人の子どもの考えを聞き合うことや考えている動きを見せ合う機会を作ったり、子ども達が自分達で相談している様子をそばで見守ったりする。</p> <p>◎友達の得手不得手や取り組み方、頑張りなど今まで知らなかった友達の個性に気付いたり認めたりしていけるように、友達の取り組んでいる様子を紹介したり、一人一人の取組の違いやよさなど教師の気付いた個性を言葉にしたり、個性を認めている<u>気持ちに共感姿を言葉に</u>したりする。</p> <p>◎友達のよさを認められるように、友達の考えや頑張り、作ったものの工夫などを伝えたり、それらを認めている<u>姿気持ちに共感しを見せ</u>たりする。</p> <p>◎自分の気持ちや考えを分かってほしいところまで伝えたいと思って伝えられがグループの友達に伝わる伝え方を考えられるように、様子を見守り、相手の様子を知らせたり、どうしたら伝わるか一緒に考え聞き手に分かっていないことはないか尋ねることを促したり、教師がポイントを絞って質問したり、伝え方の選択肢がもてる振り返りの言葉をかけたりする。</p> <p>◎相手に分かって受け入れてもらえる言い方を考えられるように、言い方によって同じことを言っても受け止めが違うことを例を挙げて伝えたり、相手がどんな様子なのか確かめたり、どんな言い方がよいか尋ねたり、教師の考えた例も挙げて選ぶ状況を作ったりする。</p> <p>◎伝えるよさを感じられるように、伝わったことで生じたよさを言葉にして伝えたり、伝えようとしたことがきっかけとなっていることを強調したりする。</p> <p>◎友達のことを気にかけられるように、友達がどういう状況か尋ねたり、友達から状況を聞く場を作ったり、知らせたりする。</p> <p>◎友達の置かれている状況を踏まえて友達にとってよいことを考えられるように、そうすると友達にとってどうなのかを尋ねたり、教師はどうなると思うかを伝えたり、考えていること自体が友達にとって嬉しいことだと話したりする。</p> <p>*発表会の日までの見通しがもてるように、カレンダーを掲示し、今日と発表会の日、準備ができる日数を明示しておく。</p> <p>◎一人一人の子どもがもっているイメージを共有していけるように、考えが同じところや違うところを整理して書き表すなどして、遊びの進め方や面白くする方法、それに必要なものなど、ポイントを明確にする。</p> <p>*グループで相談したことを覚えておき、共有したり、見通しをもったり、決めたことを責任をもって取り組んだりするように、紙と付箋、画板、<u>ホワイトボード</u>を用意しておく。</p> <p>◎グループの友達と十分に考えたり試したり振り返ったりしていけるように、各グループの練習や準備の</p>
--------------------	--	---

○自分達のしたい発表ができるように、また、発表したいことが違う友達と1つの発表を作り上げていくために、みんなが納得するまで一緒に考えたり、試したり、話し合ったり振り返って決めたり、決めたことを守ったり責任をもってしたりしようとする⑨

- 拠点となる場所を子どもと相談しながら決める。
- ◎グループの仲間全員が考えを出して発表を作れるように、一人一人がどこを考えたのか具体的に尋ね、全員の考えが出され反映されているか子ども達自身が振り返る機会を設ける。
- ◎自分の思いや考えを出しにくい場合も、その子なりの考えが出して一緒に考えていけるように、教師が質問する姿を見せて友達の考えを引き出すことを促したり、いろいろな友達の考えを引き出そうとするよさを言葉にしたりして、みんなが考えを出そうとする雰囲気を作っていく。
- ◎みんなで話し合っただけで決められるように、同じグループの友達に話したりやってみせたりする機会を作り、見せ合ったり考えたりしていることを認めたり励ましたりする。
- ◎考え試したことをグループのみんなで見られるように、試してみてどうだったか尋ねたり、試しているところを写真や動画で撮影してグループのみんなで見られる場をもったりする。
- ◎他グループの考えに刺激を受けたり、相談に乗ったり、自分達のことを振り返ったりして、自分達のしたい発表がよりよくなるように考えられるように、クラスや学年でグループの発表の上手くいったことや工夫したこと、困っていることを伝え合う時間をもったり、日常的に発表を見合う機会を設けたりする。
- ◎相談したことをグループのみんなが決めたこととして共通理解したり、自分達の考えをまとめたり整理したりしていけるように、自分達に必要なことを紙に書くことを提案したり、一緒に考えながらみんなの考えをまとめる手伝いをしたりする。
- ◎自分の考えに加えて友達の考えを取り入れられるように、他の友達に考えたことを話したり見せたりして意見を聞く状況を作る。
- ◎問題を自分達で解決していけるように、意見を出し合ったり、友達の意見について考えたり受け入れたりする姿を励ましたり感心したりする。
- ◎みんなで集まって活動しようという意識を全員がもてるように、みんなで集まっているよさを言葉にしたり、離れたところでグループを意識せずに違うことをしている子どもの存在をグループの子どもに知らせ、自分達のしたい状況になっているか尋ねたりする。
- ◎自分達の必要から決めたことをみんなで守り続けられるように、守らない友達に働きかける姿に対してそうすることのよさを言葉にしたり、決めたことを書いた紙を見るよう提案したりする。
- ◎自分の責任を果たせるように、グループの発表の中で、それぞれの子どもが担っている役割を自覚し、その責任を果たそうとしている姿から感じた子どもにとってのよさを言葉にする。
- ◎役割の意識が薄い子どもが意識できるように、その子どもに自分の役割を尋ねたり、友達に確かめたり、確かめることを提案したりする。
- ◎発表したいことが違う友達と1つの発表を作り上げ

<p>・自分達の発表したいことができるように友達と一緒に練習する</p>	<p>○縄やフラフープ、跳び箱、一輪車、ボール、コマ、けん玉などの運動用具に合わせたを使ったり、コマやけん玉の技をしったりする時の、姿勢や身体の動かし方や使い方、力加減、体を動かすタイミングなどを、見たり体感したり考えたり試したりしようとする。⑩</p>	<p>ていくために考えたり試したり話し合ったりしようと思えるように、全員のしたいことが叶う発表になっているのか尋ねたり、したいことを組み合わせることを提案したりする。</p> <p>◎姿勢や身体<small>の</small>の使い方、動かし方、力加減、体を動かすタイミングなどを見たり、身体で感じたり考えたり、試したりするように、しているところの動画や教師がしているところを、姿勢や動きなどのポイントを具体的に言葉にしてもらいながら見る機会を設ける。</p>
<p>・自分達の発表に必要なものを考えて準備したり、作ったり描いたりする</p>	<p>○身近な素材や道具の性質や特徴を生かして用途に応じて選んだり工夫して使ったりしようとする。⑪</p> <p>○自分達の発表に必要な物を思い浮かべて、大きさや形、色、組み合わせ方などを考えたり、素材の特徴を生かしたり、友達がすることを真似たり、友達の考えを取り入れたりして様々に工夫をしながら、描いたり作ったり作ったものを使ってみてどうだったか考え作り変えたりする楽しさを感じるまた、大きさや色、質感などで表現の面白さや本物らしさ、こだわりを感じる。⑫</p> <p>○曲調やリズム、テンポを感じて、技を切り替えたり曲を選んだりする。⑬</p> <p>○自分の思いや考えを、相手に分かるように言葉を選ぶ、つなげる、順序立てるたり理由を添えるなどたりして伝えようとする⑭</p>	<p>◎身近な素材や道具の性質や特徴を生かして用途に応じて選んだり工夫して使ったりしようと思えるように、用途を尋ねた上でぴったりの素材や道具が何か一緒に考えたり、どんな性質や特徴があるのか尋ねたり、したいことに向けて、使える素材や道具を複数提示したりする。</p> <p>◎自分達の発表に必要な物を具体的にイメージして作ったり描いたりするように、発表の中身や登場人物、ストーリー、世界観などを具体的に尋ねていく。</p> <p>◎素材の特徴を生かして、工夫して作ったり描いたりしようと思えるように、素材のよさや生かせるところと一緒に考えたり、提案したり、他児のしている工夫を知らせたり、もっとかっこよくやきれいになど子どもが望んでいる方向と一緒に考えたりアイデアを出したり友達からアイデアを聞く場をもったりする。</p> <p>◎作ったものを試して考えたり作り直したりしようと思えるように、早速試してみることを提案したり、試してどうだったか尋ねたり、どの要素を変えるとより素敵になるか一緒に考えたりする。</p> <p>◎大きさや色、質感などで表現の面白さや本物らしさ、こだわりを感じられるように、友達の作ったものを見る機会を設けたり、見てどう感じたか尋ねたり、教師が感じた子どもがこだわっているポイントを言葉にしたりする。</p> <p>◎曲調やリズム、テンポを感じて、技を切り替えたり見せたいものに合うような曲を選んだりするように、いろいろな曲調やリズム、テンポの曲を準備したり、曲の変化を言葉にしたり、曲調やリズム、テンポを感じながら技を切り替えたりタイミングを合わせたりしていることを言葉にしたりする。</p> <p>◎一人一人の子どもが自分の考えを分かってもらうために意識して話し方や伝え方を考えられるように、友達に考えを伝えている様子を見守り、話のポイントを整理したり質問したり分かりにくいところを伝えたり何を言えば友達に伝わるのかを提案したりする。</p>

○自分達の発表の紹介や挨拶に、自分達の発表に相応しい言葉を考えて使おうとする⑰

○自分達の表現したいことなりたいたいものをよりそれらしく表現するために、また、見ている人がどう感じるかを考えて、感じてほしいことをより効果的に表現するために、小道具や大道具、衣装、場のとり方、飾り方、音楽、隊形、プログラムの内容や順番、司会等の役割などを考えたり 友達のよさを取り入れたり試したり 振り返ったりして、他のグループの効果的な生かし方を感じたり取り入れたりして方法を選んで、表現しようとする。⑱

○自分達の発表の内容やグループの人数に応じて、発表に使える場の広さ、友達や使う物との距離や位置を感覚で捉え、物の置き方や場のとり方、動く方向 や身体の向きを考えたり、試してみたことを振り返って考え直そうとしようとする⑲

○自分達がしやす いかたり見ている人が 見やすかったり分 かりやすかったりするよう、必要な物を用意したり置く物や体の位置や向きを考えたりしようとしたり、

◎発表会で実際に使う言葉を意識できるように、教師が見る人になりながら、それぞれの場面で使っている言葉について感じたことを伝えたり、よりよい言葉をみんなで考えるきっかけを作ったりする。

◎自分達の表現したいことなりたいたいものをよりそれらしく表現できるように、なりたいたいものの特徴を尋ねたり、特徴となり得る身に付けているものや持ちものなどの要素を伝えたりする。

◎見ている人がどう感じるかを考えて、感じてほしいことをより効果的に表現する方法を考え試すように、教師が客になって感じた表現の工夫のよさを言葉にしたり、分かりにくいところを具体的に言葉にしてどうすればよいか尋ねたり、アイデアが出なければ他児に尋ねたり、アイデアを例示したり、友達の発表を見る機会を設け見やすい表現が伝わりやすいと思った工夫を尋ねたりする。

◎感じてほしいことをより効果的に表現する方法を試して振り返られるように、試してみてどうだったか尋ねたり、試す様子を写真や動画で撮影し、見る機会を作ったりする。

◎他のグループの効果的な表現の工夫を感じられるように、見合う機会を作ったり、見ながら教師が効果的だと感じたことを言葉にしたり、見て感じたことを尋ねたりする。

*見ている人が見やすい物の置き方、体の位置や向きを考えられるように、お客さんの位置を椅子を置いたり、教師が立ったり座ったりして示す。

◎見ている人が見やすく分かりやすくなるために必要な物や物の置き方、体の位置や向きを考えられるように、お客さんになってどう見えているか言葉や静止画、動画で知らせたり、お客さんの位置から見ることを提案したりする。

◎遊戯室で使える場の広さをイメージして、空間の使い方や動きを考えられるように、遊戯室以外の場所で活動している時にも、おおよその広さを示したり伝えたり、広さをイメージできる空間で活動できるような場所を探したりする。

◎物を置く位置や場のとり方、動く方向、身体の向きを考えたり、試してみたことを振り返って考え直そうとしようと思えるように、狭い、ぶつかった、広い、近いなど感じていることを言葉にしたり、活動場所にかかわらず常にお客さんがどこから見ていることにするのか尋ね、向きの共通理解を促したり、試してみてどうだったか尋ねたりする。

◎自分達がしやすくなるために必要な物や物の置き方、体の位置や向きを考えられるように、しにくさを尋ねたり、何があるとよさそうか尋ねたり、物や人の位置や向きについて言葉にして意識化したりする。

*見ている人が見やすい物の置き方、体の位置や向きを考えられるように、お客さんの位置を椅子を置いたり、教師が立ったり座ったりして示す。

	<p>そうするよさを感じたりする。⑬</p> <p>○道具が長く使えるように丁寧に扱ったり、限られた時間や場所、物であることを感じて、もったいなくないように大切にしようとしたりする⑭</p>	<p><u>◎見ている人が見やすく分かりやすくなるために必要な物や物の置き方、体の位置や向きを考えられるように、お客さんになってどう見えているか言葉や静止画、動画で知らせたり、お客さんの位置から見ることを提案したりする。</u></p> <p>◎道具を長く使うために丁寧に扱おうと思えるように、もったいない状態になっていないか、長く使うためにどうしたらよいか尋ねる。</p> <p>◎限られた時間や場所、物であることを感じて、もったいなくないように大切にしようと思えるように、時間や場所の見通しを伝えたり、限られた状況の中で今どうしたらよさそうか尋ねたり、もったいないポイントを言葉にしたりする。</p>
--	---	--

C【グループの取組を見せ合う】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<p>・発表することを学年のみんなで見合う</p> <p>・見る人の立場から、より見やすく分かりやすくするための方法を考える</p> <p>・「面白い」「素敵」「もったいなくしたほうがいい」と思うところを出し合う</p> <p><u>・自分達の発表に取り入れられそうなことを考える</u></p>	<p>○他のグループの発表がよりよくなるように、自分の気持ちや考えを<u>分かってほしいところまで相手にきちんと伝えたい</u>と思っ、相手の様子を見たり <u>伝わっているか確かめたりしながら、伝え方を工夫したり、適切な伝え方を選んだりして、分かってもらったり受け入れてもらったりする</u>伝わるまで伝えようとする⑦</p> <p>○自分達の表現したいこと<u>なりたいもの</u>をよりそれらしく表現するために、また、見ている人がどう感じるかを考えて、感じてほしいことをより効果的に表現するために、小道具や大道具、衣装、場のとり方、飾り方、音楽、隊形、プログラムの内容や順番、司会等の役割などを考えたり <u>友達のよさを取り入れたり試したり振り返ったりして、他のグループの効果的な生かし方を感じたり取り入れたりして方法を選んで、</u></p>	<p>◎発表を見て感じたことを出し合うことで、発表したグループの友達が課題をはっきりと意識し、よりよく改善していこうと思うような伝え方をしようと思えるように、見ている子どもが感じた事を伝える際、特にマイナス面については、感じたことを言うだけに終わらせず、どうすればよくなると思ったかを合わせて伝えるよう提案する。</p> <p>*発表を見る保護者の位置からの見やすさや分かりやすさを考えられるように、当日のお客さんである保護者が見る位置から友達の発表を見る状況を作る。</p> <p>◎発表がより素敵で楽しく見やすくなるように、見ている人の立場から、見ていて楽しいところや分かりにくいところなどの意見を伝えるよう提案したり、子どもから出なかったポイントを教師も伝えたり、自分のグループの発表にも生かせるところがないか尋ねたりする。</p> <p><u>◎見ている人が見やすいように分かりやすいように必要な物や物の置き方、体の位置や向きを考えられるように、見ていた人にどう見えていたか尋ねたり、何があるとよさそうか、位置や向きはどうか尋ねたりする。</u></p>

	<p>表現しようとする⑱</p> <p>○自分の思いや考えを、相手に分かるように順序立てるたり理由を添えるなどたりして、伝えようとする⑰</p> <p>○自分達の発表に相応しい言葉、見ている人に分かるように伝えるために必要な挨拶の仕方、話の仕方を考えて使おうとする⑰</p> <p>○自分達がしやすいいかたり見ている人が見やすかったり分かりやすかったりするりように、必要な物を用意したり置く物や体の位置や向きを考えたりしようしたり、そうするよさを感じたりする⑬</p>	<p>◎みんなで一つのグループの取組を見る時のポイントが意識できるように、事前にどんな意見だと役立つか、必要なか尋ね、「素敵だと思うところや頑張っていると思うところ」「もっとこうしたらよくなると思うところ」を見付けておき、出し合うことを伝える。</p> <p>◎一人一人の子どもの言いたいことを聞いている人が分かるように伝えられるように、言葉の足らないところは質問をして聞き出したり、よく分かる順番に話をしている子どもの話し方や理由を添えているところを具体的に言葉にしたりする。</p> <p>◎自分達の発表に相応しい言葉や見ている人にとって分かりやすい説明の言葉や話の仕方に気付けるように、それぞれの発表に合っている言葉を具体的に知らせたり、聞いていてよく分かるところをその理由と共に取り上げたり、分かりにくいところを話題に挙げ、どうすればよく分かるか尋ねたり、一緒に考えたりする。</p> <p>◎自分達がしやすいように必要な物や物の置き方、体の位置や向きを考えられるように、実際に本番と同じようにしてみようだったか、これまで考えてきたことは上手くいったか尋ねる。</p> <p>◎見ている人が見やすいように分かりやすいように必要な物や物の置き方、体の位置や向きを考えられるように、見ていた人にどう見えていたか尋ねたり、何があるよさそうか、位置や向きはどうか尋ねたりする。</p>
--	--	--

D【みんなで歌を歌う】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> 歌詞の意味を考えながら歌を聞いたり歌詞を見たり聞いたりする← 歌詞の意味を感じながら歌う どう感じてほしいかや見ている人がどう感じるかを考えて、歌い方や並び方、入退場の仕方、曲紹介や終わりの言葉を決める 	<p>○アレンジした歌詞がフレーズのリズムに合っているか聞いたり歌ったりして確かめる。⑬</p> <p>○歌詞の意味を自分の状況や心情と重ね合わせて歌ったり、歌声が重なり合う一体感を感じたり友達と気持ちを合わせて歌う充実感を味わったりする。⑫⑱</p> <p>○見ている人がどう感じるかを考えて、感じ</p>	<p>◎アレンジした歌詞がフレーズのリズムに合っているか聞いたり歌ったりして確かめようと思えるように、教師が歌って聞く場を設けたり、聞いてどう感じたか尋ねたりする。</p> <p>*歌に込められた気持ちを感じたり、大きくなった自分や仲間とのつながりを感じたりしながら歌えるように、修了が近く、もうすぐ進学する今の時期の心情と重なる歌を選ぶ。</p> <p>◎歌を通じて自分の気持ちや感謝を伝えることを意識しながら歌えるように、それぞれの歌詞がどういう気持ちを表しているのか、自分達の心情と重なる部分はどいういったところか、子どもと話をしながら歌詞を伝えたり、その気持ちを思いながら歌いたい思いを共有したりする。</p> <p>◎歌声が重なり合う一体感を感じられるように、友達の声を聴くことへ意識を向けたり、歌ってみて感じたことを尋ねたり、教師が感じたことを伝えたりする。</p> <p>◎聴き手がどう感じるかを考えて、感じてほしいことがより伝わる方法を考えられるように、歌い方をど</p>

	てほしいことをより効果的に表現するために、並び方や入場の仕方等を考えて表現しようとする⑱	うしたいか尋ねたり、方法の例を挙げたり、交替で歌って聞き合う場を設けたりする。 ◎見ている人がどう感じるかを考えて、感じてほしいことがより伝わる方法を考えられるように、並び方や入退場の仕方、発表の終わり方をどうしたいか尋ねたり、どんな方法があるか例を挙げたりする。
--	--	---

E【発表する】		
予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・うめ組やもも組を招待して子どもだけの発表会をする ・お家の人を招待して発表会をする 	<p>○自分達の発表を通して自分達で諦めずにやり遂げたことに満足する②</p> <p>○グループの友達と一緒にやり遂げた喜びを感じ、一緒に発表を作りやり遂げる仲間がいることを嬉しく思う⑤</p>	<p>*子ども達の日々の成果や当日の頑張りをしっかりと見てもらえるように、どの席からも子ども達の発表が見えるように会場を整える。</p> <p>◎発表会当日の自分の出番を意識して準備ができるように、準備を始めるタイミングが分かりやすい目安を子どもと一緒に見付けておく。</p> <p>◎発表当日に至るまでの取組の姿を保護者に分かってもらえるように、それぞれのグループが乗り越えてきた課題やその過程、成長、楽しんできたことなどを、各グループの発表の片付けと準備をしている間に保護者に伝える。</p> <p>◎自分達が向き合ってきた取組を、一人一人の子どもが自信をもって力を発揮して発表できるように、励ましたり力を出し切りたい思いを言葉にしたりする。</p> <p>◎一人一人の子どもが諦めずにやり遂げた満足感を十分に感じられるように、頑張ったことに感心したり、やり遂げたことを一緒に喜んだりする。</p> <p>*発表で見てほしかったことや伝えなかったことが伝わったりやり遂げたりした満足感を感じられるように、保護者に感想を付箋に書いてもらい、子どもがすぐ見られる場を設ける。その際、子どもにとって見やすいように、ひらがなで書き、グループ毎等カテゴリー分けして貼ってもらう。</p> <p>◎グループの友達と一緒にやり遂げた喜びを感じられるように、タッチをしたり肩を組んだりなどする姿を一緒になって喜んだり、タッチや肩組みなどをするきっかけを作ったりする。</p> <p>◎一緒に発表をやり遂げる仲間がいる嬉しさを感じられるように、これまでの友達との頑張りが友達がいなかったからこそのできたことを具体的な例を挙げて振り返る。</p>

グループの題材に合わせて追加するもの

予想される子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ・跳び箱などを準備する ・跳び箱を跳ぶ 	<p>○跳び箱を使う際に、どのような場所ですると危ないかぶつからないか考えて、活動場所を決めたり、マットを敷いたり、跳び箱を安全に運ぶ方法を友達と考えたり試</p>	<p>◎安全に跳び箱ができる場にしようと思えるように、事前にどんな危険がありそうか話し合う場を設けたり、子ども達が気付いていない重大な危険がある場合には、理由を添えて知らせたり、一緒に場作りをしたりする。</p> <p>◎安全に跳び箱を跳べるように、危ないと思った場面を一緒に振り返ったり、気をつけられそうなこと(跳んだ先の場や距離、跳ぶ方向、跳び箱の運び方など)</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・楽器を鳴らす ・楽器を作る <ul style="list-style-type: none"> ・お話を作る ・役になって演じる 	<p>したり、跳ぶ向きを相談したりしようとする。㉗</p> <p>○リズムやテンポ、曲調を感じたりで音を鳴らすことを楽しんだり、音を聞いて音の高低や音色、音階を感じたり、友達と合わせて音が重なり合う一体感を感じを重ねようとしていたりしながら、それらを意識して、楽器を鳴らすことを楽しむ。㉘</p> <p>○登場人物の気持ちや性格、生態から、表情や言葉、話し方、動き方などを考えたり、場面設定に合わせた動き方や話し方などを考えたり、曲調や歌詞から膨らませたイメージの表し方を考えたり、友達の表現や考えをとり入れたりして、表現する楽しさを感じる。㉙</p> <p>○友達と一緒にお話のそれぞれの場面の様々な登場人物の設定や気持ちを感じたり考えたり、イメージを膨らませたり設定を生かしたりして話の設定や展開、役の設定を具体的に考えたりしながら、登場人物の気持ちに近付こうとしたり、友達と一緒にお話を作って遊ぶ楽しさを感じたりする。㉚</p>	<p>を一緒に考えたりする。</p> <p>◎リズムやテンポ、曲調を感じて楽器音を鳴らすことを楽しめるように、教師も一緒にリズムやテンポに合わせて体を揺らしたり歌ったり、曲調の変化を言葉にしたり曲調を感じながら音の鳴らし方を変えている友達の姿に注目させたりする。</p> <p>◎音の高低や音色、音階を感じられるように、いろいろな素材の入れ物や棒、楽器を用意したり、簡単な曲を何曲か提案したり、音階のある楽器を紹介したりする。</p> <p>◎友達と合わせて音が重なる一体感を感じたりするねようと思えるように、友達の音をよく聞くよう促したり、録音したものを一緒に聞いてどう思ったか尋ねたりする。</p> <p>◎登場人物の気持ちや性格、生態、場面設定から感じたことを表現できるように、登場人物の気持ちや性格、生態、場面の状況などを具体的に尋ねたり、それらがイメージしやすい言葉をかけたりする。</p> <p>◎曲調や歌詞から膨らませたイメージの表し方を考えようと思えるように、曲調や歌詞からどんなことをイメージしたか尋ねたり、教師が感じたイメージを体で表現してみせたりする。</p> <p>◎友達の考えを取り入れて表現することを楽しめるように、友達の表現を見る機会を設けたり、素敵だと感じた所を尋ねたり、取り入れてさらに素敵になったことを具体的に言葉にしたりする。</p> <p>◎作りたいお話になるように、役や設定、展開を考えると楽しめるように、どんなお話にしたいのか聞きながら、それぞれの考えでお話ができいく楽しさに共感する。</p> <p>◎話の設定や展開、役の設定をより具体的に考えていくように、なりきって遊ぶ時間を十分にとったり、つながりやしていることがわかりにくいことを伝えたり、役の設定を掘り下げて聞いたり、それぞれの場面で表現したいことに向けて考えるきっかけを作ったりする。</p> <p>◎話の様々な場面での登場人物の気持ちや設定をえられるように、場面の状況や登場人物の性格などを具体的に尋ねたり、教師が想像する登場人物の気持ちを言葉にしたりする。</p> <p>◎お話を作る楽しさを感じられるように、考えたお話の面白さを言葉にして伝えたり、登場人物の設定が生きていることを言葉にしたり、面白い展開がひらめくヒントを出したり、教師がお話を考えることを楽しむ姿を見せたりする。</p>
--	---	--